

経済学部

- ✓ 経済学部では、自らのキャリアプランに合わせて主体的にコース・科目を選択することができます。
- ✓ 3年次から4つのコース（経済政策／歴史・思想／産業・企業経済／国際経済）を選択し、より深く専門分野を学びます。その選択に向けて、1年次は入門的な科目を、2年次は基本科目を中心に体系的に学習します。
- ✓ 4つのコースの詳細はこちら

経済政策コース

財政や社会保障、雇用、地方創生など政治活動に関わる問題を学ぶ

歴史・思想コース

経済や社会思想が発展してきた過程を歴史から学ぶ

産業・企業経済コース

企業の行動原理やビジネスデータを分析・活用する手法を学ぶ

国際経済コース

ヒト・モノ・サービス・カネが国や地域を超えて移動するグローバル社会を学ぶ

やってみよう!

以下から関心のある言葉を選んでみよう
皆さんが選んだ言葉の色と同じ色のコースでこの内容が学べます!

年金

地域経済の活性化

貿易摩擦

植民地

SDGs

資本主義

キャッシュレス

移民・難民

少子高齢化

マーケティング

日本の近代化

ふるさと納税

ゼミ紹介

経済学部には多くのゼミナールがあります
テーマは幅広く、その一部をご紹介します



- ✓ 藤中ゼミ
マッチング理論（より適切な組み合わせを考える）を用いて、婚活パーティーにおいて参加者がより満足できるカップリング方法を研究

- ✓ 宇都宮ゼミ
地球温暖化、少子高齢化、訪日外国人の増加といった現代日本の状況を踏まえたうえで、交通を通じてまちを活性化させる方法を考える



- ✓ 佐々木ゼミ
「現代の流通・マーケティング・まちづくり」をテーマに、マーケティングの基礎を学ぶ。事業者と学生で協働し、商品開発に取り組むこともある

短期留学プログラム

経済学部では学部独自の留学プログラム（GoLDプログラム）を実施しています

本プログラムでは、語学力の向上はもちろん

- ・ 外国語を用いた経済学の学習
- ・ 現地企業を訪問し、ビジネスの現場を体感
- ・ 現地学生とのディスカッション

など他の留学プログラムにはない特徴があります



- ✓ 留学実績
ニュージーランド／オーストラリア
タイ／ベトナム／台湾／中国
※2019-2020年度の実績です
留学先は変更になる可能性があります

併設校出身OB・OGへのインタビュー

経済学部4年次の大原瑠奈さん・橋本陽さん・平井智さん・松葉智也さんにインタビューに協力してもらいました。
4名ともみなさんと同じ併設校出身の先輩です。
経済学部の魅力や入学にあたってのアドバイスについてお話を伺いました。

Q1 経済学部に入學してよかったことや高校生の時と比べて変わったことは？

大原：少人数で取り組むワークショップやゼミナールの授業は、それまであまりなかった経験だったので非常に面白いと感じます。

橋本：もともと人前で話すことが苦手でしたが、ゼミはグループの一人ひとりが主張しないと研究が進まないところもあり自然と苦手を克服できました。

大原：そのほかだと経商合同ゼミナール大会という学内のプレゼン大会に出場したこともよかったなと思います。自分たちのゼミ以外の発表を聞くのは非常に刺激になりました。

橋本：関西大学は学生数が多く、たくさんのゼミがあり、互いに切磋琢磨する環境がとても充実していると感じます。

Q2 経済学部に入學する前あるいはした後にしておけばよいことはありますか？

平井：高校の時もエクセルやワードの実習はありましたが、入学後は講義やゼミでよく使うのでもっと真剣に学んでおけばよかったと思うことがあります。

松葉：私もそう感じます。あと経済学部の科目は基礎的な数学が必要なものがあるので、高校の時に数学を少しでも勉強しておくのと良いと感じます。

平井：入学後でいうと、併設校出身者同士で集まりがちなので、外部入学の経済学部生と積極的に関わる機会を持つと良いと思います。

松葉：それはありますね。1年次には経済学ワークショップをはじめ少人数クラスが用意されているので、語学やサークルに加えてワークショップでも交流の輪を広げることが大切だと感じます。

Q3 最後に他学部と比べた場合の経済学部の特色について教えてください。

大原：就職活動のなかで企業説明会に参加したり新聞やニュースを読む機会が増えましたが、学部で勉強した言葉がよく出てくるのでなじみやすいと感じます。

橋本：就職活動とのつながりが見出しやすいというのは私も感じるところです。

松葉：私は国家公務員試験の勉強をしていますが、そういった試験や資格試験の対策でも経済学部の科目と関連があるものが多いですね。

平井：ゼミナールをはじめとして、少人数で議論する機会が多いところも経済学部の特徴かなあと感じます。

OB・OGの皆さんインタビューへのご協力ありがとうございました

就職状況

就職率 **98.3%** (男子 98.4% / 女子 98.1%)

経済学部の卒業生はメーカーをはじめ、金融・保険、情報通信、公務員など多様な業界に就職しています。大学時代に培った国内外の経済を理論と実践から学んだ経験を活かし、幅広いフィールドで活躍しています。

2020年度併設校出身者卒業生の就職先の一例

三井住友銀行、りそな銀行、住友生命保険
日本生命保険、凸版印刷、神戸製鋼所
日立造船、オービック、ソフトバンク
積水ハウス、小林製薬、ローム
伊藤忠食品、ユアサ商事、東映、国税専門官 など

併設校OGの声 就職先：(株)JTB (2019年3月卒業)

仕事内容

高校生に向けて、修学旅行や校外学習などの企画提案を行っています

いまの仕事を選んだきっかけ

大学時代のカナダ留学で異文化に触れる楽しさを感じ、学生の皆さんに将来へつながるような旅行体験を提供したいと思いました

いまにつながる経済学部在学中の学び

1年次：ミクロ経済学・マクロ経済学を学ぶ
経済学の視点から社会を考えるための基礎を学ぶ
2年次：カナダへ語学留学
多様な国籍の人々と交流、視野と知見が広がった
4年次：卒業論文の作成に注力
「グローバル経済下における外国人労働者の推移」
について研究



併設校の皆さんをお待ちしています